

運用状況レポート

【2025年3月31日現在】



5年ごと利差配当付一時払変額個人年金保険（年金原資保証型2012）

【標準型】

この商品は、新規のご契約のお取扱いを停止させていただいております。

明治安田生命保険相互会社

ご契約の最新情報は

ホームページ

<https://www.meijiyasuda.co.jp/>

お問い合わせは

コミュニケーションセンター



ようこそ ハロー
0120-453-860

投資リスクについて

この商品は、一時払保険料の100%を特別勘定で運用し、特別勘定を構成する投資信託の運用実績等に応じて積立金、将来の年金年額等が増減します。そのため有価証券（株式や債券）の価格下落や為替相場の変動等により、投資信託の基準価額が下がった場合、積立金、解約返戻金が基本保険金額（一時払保険料）を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。運用に伴うリスク、成果はご契約者に帰属します。

■ この商品の特別勘定の投資にあたっては、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスク等があります。

主な投資リスクについて

価格変動リスク	有価証券の市場価格の変動により、資産価値が変動し減少する場合があります。
為替リスク	外国為替相場の変動により、資産価値が変動し減少する場合があります。
信用リスク	有価証券の発行体の経営・財務状況の悪化により、資産価値が変動し減少する場合があります。
金利変動リスク	金利水準の変動により、資産価値が変動し減少する場合があります。

諸費用について

	項目	費用	費用の計算方法
据置期間中	保険契約関係費	特別勘定の資産総額に対して 年率2.40%	特別勘定の資産総額に対して 2.40%/365日を毎日控除します。
	資産運用関係費*1 (信託報酬)	投資信託の純資産総額に対して 年率0.283600% (税込)	投資信託の純資産総額に対して 0.283600%/365日を毎日控除します。
契約日から 7年未満の解約 (一部解約) の場合	解約控除	基本保険金額に対して 5.6%～2.0%	契約日からの経過年数に応じ、 基本保険金額（一部解約の場合は請求 額に応じて減額される基本保険金額）に 左記解約控除率を乗じた額を控除します。
年金支払期間中 (年金支払特約の 場合を含む)	保険契約関係費*2	年金年額に対して 1.0%	年金開始日以後、 年金支払日に控除します。

*1 資産運用関係費は、特別勘定の主たる投資対象の投資信託（国内投資信託）が外国投資信託へ投資を行なうため、国内投資信託と外国投資信託の信託報酬を合わせた年率を記載しています。資産運用関係費には、投資する投資信託の信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料等、および消費税等の税金がかかります（信託報酬以外のこれらの諸経費等は特別勘定から控除されるため、ご契約者は間接的に負担することとなります）。また、これらの諸経費については、投資信託委託会社における運用により発生し、その運用方法によって変動するため、費用の発生前にその費用の額や割合等を提示することはできません。なお、資産運用関係費は、運用手法の変更等により将来変更される場合があります。

*2 年金開始日以後の保険契約関係費は、将来変更される場合があります。

ご契約者にご負担いただく費用の合計額は、上記「保険契約関係費」、「資産運用関係費」の合計です。なお、契約日から7年未満の解約（一部解約）の場合には、「解約控除」がかかります。

<解約控除率>

経過年数	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年未満	7年未満	7年以上
解約控除率	5.6%	5.0%	4.4%	3.8%	3.2%	2.6%	2.0%	0.0%

運用方針

独自の「リスクコントロール手法」により、市場に対するリスクを調整し、安定的な投資効果の獲得を目指します。

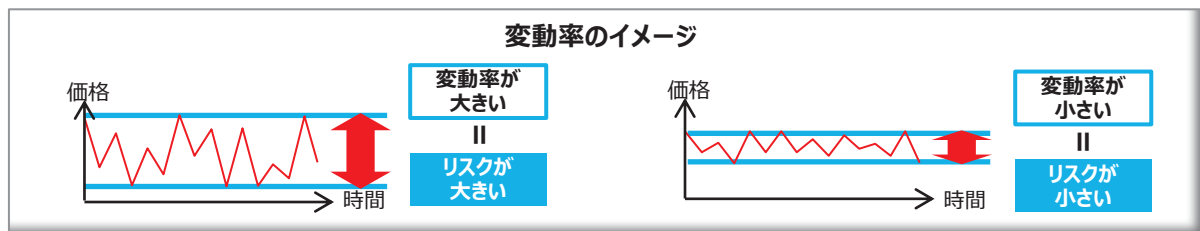
◆特別勘定の名称・運用会社等

特別勘定の名称	組み入れる投資信託	運用会社	特徴
CG10世界バランス 2012	CGMYL リスクコントロール・ファンド VA2012（適格機関投資家私募）	明治安田 アセット マネジメント 株式会社	海外資産を中心とした6つの資産を投資対象としており、個々の値動きのトレンドに注目して収益期待資産を選定します。

◆「リスクコントロール手法」とは

- 市場環境に応じて、株式・債券・商品指数等による「収益期待資産」と「現預金等」の資産配分比率を機動的に見直すことにより、市場に対するリスクをコントロールします。
- 資産配分にあたっては、ファンドのリスクを「変動率（資産の値動き）」*で計測し、「収益期待資産」の変動率が高い場合は、「収益期待資産」への配分比率を減らし「現預金等」への配分比率を増やすことにより、ファンドのリスクをコントロールします。

*「投資対象の資産価格の変動」のことで、一般的に、変動率が高いことはリスクが高いと定義されます。



◆「リスクコントロール手法」のながれ

●「収益期待資産」を決定

「収益期待資産」は、投資対象資産の値動きのトレンドに注目し、自動的かつ定期的に見直し・選定を行います。

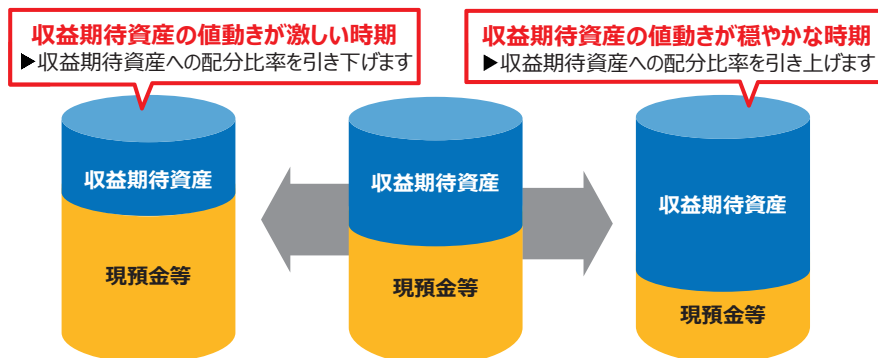
以下の6つの投資対象資産から選定されます。

米国株式	香港株式	新興国株式
商品指数	米国債券	円短期金融資産

※原則、為替ヘッジを行いません。

●「収益期待資産」と「現預金等」の配分比率を決定

「収益期待資産」と「現預金等」の配分比率は、「収益期待資産」の値動きに応じて決定します。



特別勘定の運用概況について(2025年3月31日現在)

◆運用方針および運用の経過

- ・当該特別勘定の運用は、主として、追加型株式投資信託「CGMYLリスクコントロール・ファンドVA2012（適格機関投資家私募）」（設定・運用：明治アセットマネジメント株式会社）に投資することにより行ないます。組入比率については、高位で維持することを目指します。
- ・運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行ないました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行なう方針です。
- ・特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-1.27%、設定来で-32.04%でした。

◆特別勘定ユニット価格の推移



	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	直近3年	設定来	ユニット価格 (2025年3月31日現在)
ユニット価格変化率	-1.27%	-0.31%	-2.29%	-3.21%	-12.38%	-32.04%	6,795.65862995

※「ユニット価格変化率」は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

◆特別勘定資産の内訳

資産合計 (百万円)	比率	
	投資信託	短期金融資産等
953	99.5%	0.5%

※資産合計は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

※比率は、特別勘定資産合計に対する割合で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

※本ページは「5年ごと利差配当付一時払変額個人年金保険（年金原資保証型2012）【標準型】」の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的とするものではありません。

※本ページに記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※「5年ごと利差配当付一時払変額個人年金保険（年金原資保証型2012）【標準型】」は、特別勘定で運用を行なう保険商品であり、投資信託ではありません。

組入れております投資信託の運用状況につきましては、次ページ以降をご参照ください。

「参考情報」特別勘定 CG10世界バランス2012 組入れ投資信託の運用状況

CGMYLリスクコントロール・ファンドVA2012（適格機関投資家私募）

設定・運用：明治安田アセットマネジメント株式会社

1 ページ目 / 3 ページ

・本資料は、5年ごと利差配当付一時払変額個人年金保険（年金原資保証型2012）【標準型】の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・本資料の内容はあくまで参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有しているわけではありません。特別勘定の運用状況については「特別勘定の運用概況」をご覧ください。この投資信託の値動きと特別勘定のユニット価格の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動に備えて一定の現預金等を保有していること、およびユニット価格の計算にあたり保険契約関係費を控除することによりです。

・本資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・本資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社による運用報告を明治安田生命より提供するものであり、内容に関して明治安田生命は一切の責任を負いません。

・本資料で使用している基準価額や騰落率等は、原則として信託報酬等の費用控除後のものです。

■ 運用方針と運用の特色

主として参照指数（※1）への連動を目指して運用を行う指数連動ファンド（※2）へ投資を行うことを通じて参照指数（※1）に連動した投資成果を獲得し、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

（※1）参照指数は「CGMYL指数2012」であり、定期的な上昇トレンドと判定される資産を選び出すとともに、株式や債券、商品市場等の相場環境の変動に応じて機動的に資産配分を変更する「リスクコントロール手法」に基づき、資産の上昇トレンドを捉えるとともに、市場に対するリスクを調整し、中長期的に安定した収益の獲得を目指す投資戦略のためにシティ・グループが開発・算出しているカスタム・インデックスであり、「収益期待資産」と「現預金等」から構成されています。

（※2）指数連動ファンドは「CGMYL指数 ターゲット・ボラティリティ ファンド2012（SP）」であり、ケイマン籍円建て会社型外国投資信託です。参照指数（※1）の動きに連動する投資成果の獲得を目指した運用を行います。

ファンドの状況（基準価額および純資産総額）

	月末値	前月末比
基準価額（円）	9,144	△101
純資産総額（百万円）	948	△91

資産構成

	月末値	前月末比
投資信託証券	99.0%	0.1%
現金等	1.0%	△0.1%
合計	100.0%	0.0%

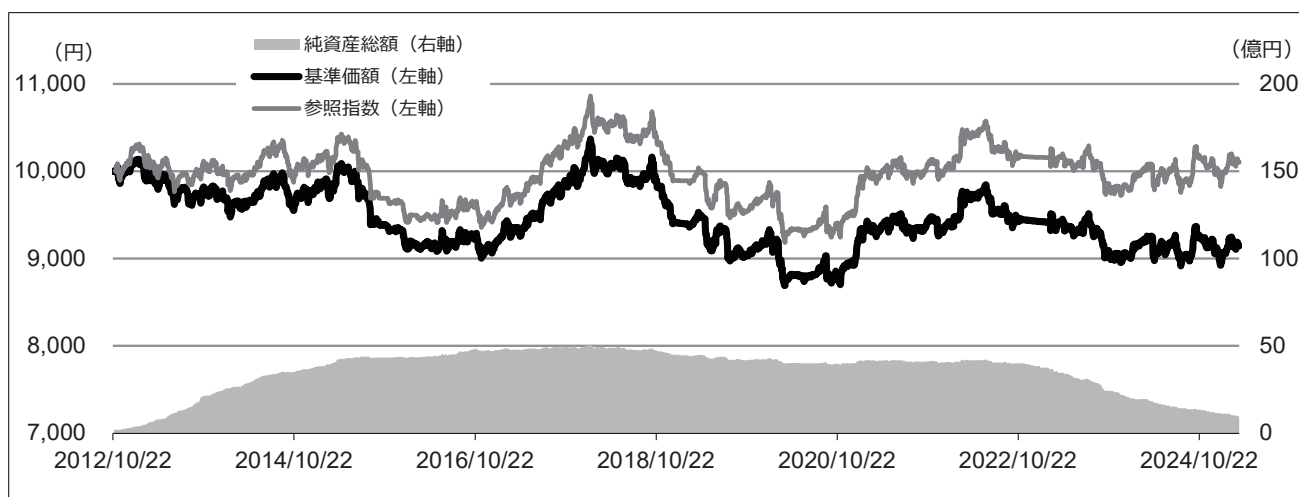
騰落率

	ファンド	参照指数	差
1ヵ月	△1.1%	△1.0%	△0.1%
3ヵ月	0.3%	0.7%	△0.4%
6ヵ月	△1.2%	△0.5%	△0.7%
1年	△1.0%	0.5%	△1.5%
3年	△5.9%	△3.1%	△2.8%
設定来	△8.6%	1.0%	△9.6%

*参照指数の騰落率は、各期間毎の騰落率の計算に係る基準日時点での当ファンドの基準価額に反映している指数値を基に計算しています。

*本資料では、パーセント表示の数値については、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

基準価額等の推移



*参照指数は、当ファンドの主要投資対象である指数連動ファンドの設定日（2012年10月31日）を10,000として指数化しています。

また、参照指数は、当ファンドの基準価額に反映している日を基準に表示しています。

*分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、分配金実績があった場合に税引前分配金を再投資したものととして算出しています。

「参考情報」特別勘定 CG 10世界バランス2012 組入れ投資信託の運用状況

CGMY リスクコントロール・ファンド V A 2012（適格機関投資家私募）

設定・運用：明治安田アセットマネジメント株式会社

2 ページ目 / 3 ページ

運用の概況

当ファンドの今月の基準価額は、当初設定日比△8.6%、前月末比△1.1%となりました。当ファンドの動きに影響を与えた指数連動ファンドのパフォーマンスは指数連動ファンドの当初設定日比（2012年10月31日比）△7.5%、前月末比△1.1%となりました。また、参照指数のパフォーマンスは指数連動ファンドの当初設定日比（同）+1.0%、前月末比△1.0%となりました。

3月の参照指数は、前月末比で下落しました。収益期待資産の騰落率は△2.0%となり、参照指数の騰落率は△1.0%となりました。米国の関税政策の不確実性が嫌気され、米国株式および香港株式の下落がマイナスに影響しました（以下の「【参考情報】収益期待資産の配分比率および騰落率」をご参照ください）。

収益期待資産への配分比率については20～40%程度で推移しました。今月の収益期待資産は、米国株式、香港株式、商品指数が選択されました。

【参考情報】収益期待資産の配分比率および騰落率

投資対象資産	配分比率 (A)	騰落率 (B)	＜参考＞ 寄与度 (A) × (B)	投資比率上限
米国株式 (S&P 500指数)	10.5%	△4.6%	△0.5%	33.33%
香港株式 (香港株式ハンセン指数)	10.8%	△0.9%	△0.1%	33.33%
新興国株式 (MSCIマージング・マーケット指数)	—	—	—	33.33%
商品指数 (S&P GSCI指数)	10.6%	0.4%	0.0%	33.33%
米国債券 (FTSE米国債指数)	—	—	—	50.00%
円短期金融資産	—	—	—	100.00%
収益期待資産	31.8%	△2.0%	△0.6%	
現 預 金 等	68.2%	0.0%		
参 照 指 数		△1.0%		

*配分比率は、当ファンドの当月中の日々の基準価額に反映している 参照指数における配分比率の平均です。

*寄与度は、参照指数のパフォーマンスにおける各投資対象資産の寄与度の概算を計算したものです。月中の配分比率の変化等の影響のため、その合計は必ずしも参照指数の騰落率と一致するものではありません。

*MSCIマージング・マーケット指数、S&P GSCI指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれMSCI Inc.、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャルサービーズエルエルシー、に帰属し各社は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。また、S&P GSCI 指数は、ゴールドマン・サックス社及びその系列・関連会社によって所有、保証、支持されているものではなく、関連するものでもありません。

【参考情報】主要市場の概況

「株式市場」

株式相場は米国、香港、新興国のいずれも下落しました。米国における関税政策の不確実性が懸念される中、同国大統領が関税政策による景気後退の可能性を否定しなかったこともあり、下落しました。

「商品市場」

商品指数は上昇しました。米国における石油製品の在庫減少や、ウクライナ情勢の不透明感の高まりを背景にロシアからの供給悪化観測などをを受けて原油価格が上昇したことから、上昇しました。

「債券市場」

米国債券市場において長期金利は上昇しました。関税政策を巡り神経質な展開となる中、F R B (米連邦準備制度理事会)議長が「利下げを急ぐ必要はない」と述べ、利下げ観測がやや後退したこともあり、上昇しました。

*「主要市場の概況」は、当ファンドの当月中の日々の基準価額に反映している 参照指数に対応した内容です。

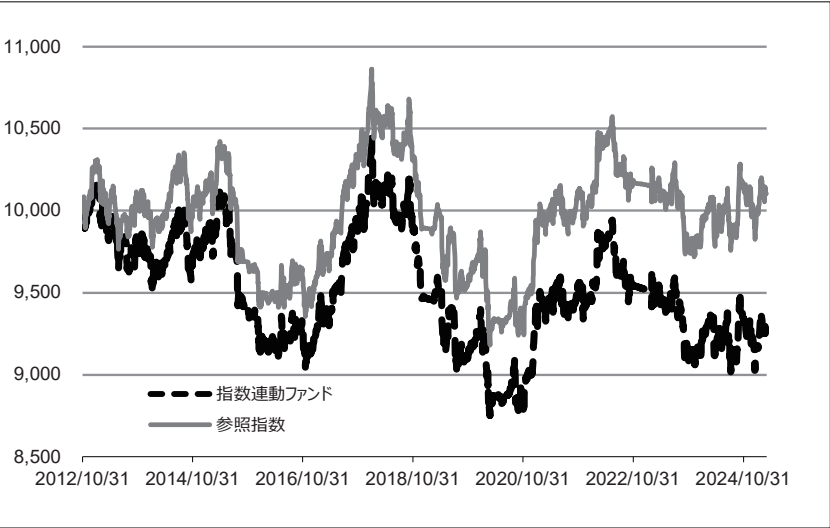
「参考情報」特別勘定 CG 10世界バランス2012 組入れ投資信託の運用状況

CGMY リスクコントロール・ファンドVA2012（適格機関投資家私募）

設定・運用：明治安田アセットマネジメント株式会社

3ページ目／3ページ

【参考情報】指数連動ファンドおよび参照指数の概況

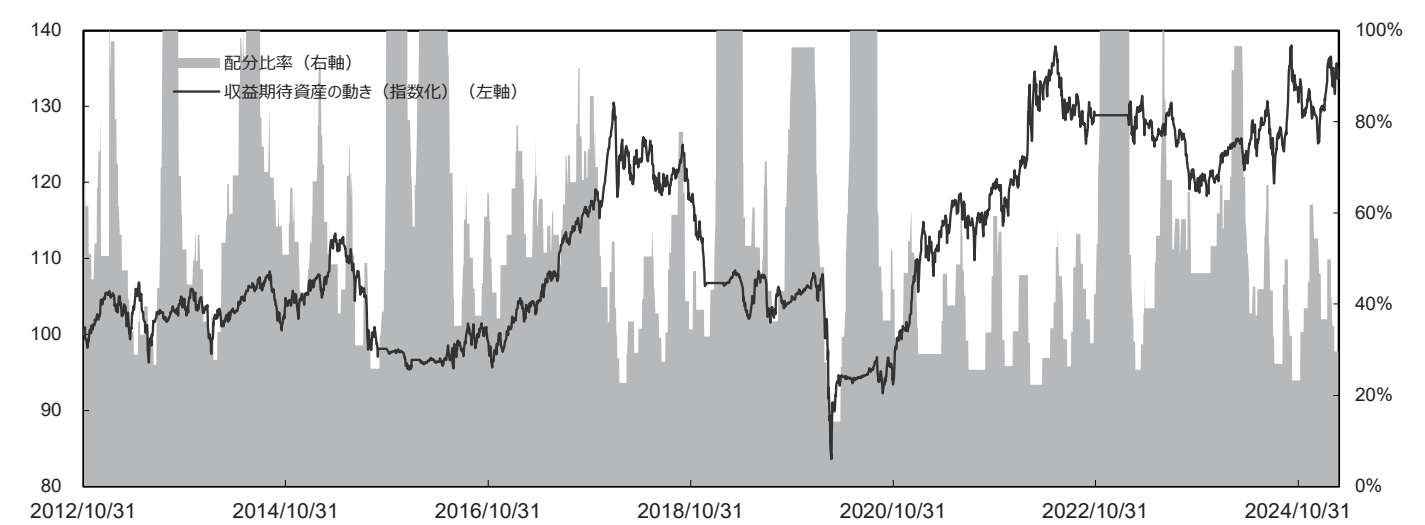


騰落率	指数連動ファンド	参照指数
1ヵ月	△1.1%	△1.0%
3ヵ月	0.2%	0.7%
6ヵ月	△1.2%	△0.5%
1年	△0.9%	0.5%
3年	△5.7%	△3.1%
設定来	△7.5%	1.0%

* 指数連動ファンドおよび参照指数の騰落率は、各期間毎の騰落率の計算に係る基準日時点での当ファンドの基準価額に反映している指数連動ファンドの価格および指数値を基に計算しています。

* グラフ中の参照指数、指数連動ファンドは、指数連動ファンドの設定日（2012年10月31日）を10,000として指数化しています。また、グラフ中の指数連動ファンドおよび参照指数は、当ファンドの基準価額に反映している日を基準に表示しています。

【参考情報】収益期待資産の動きと配分比率の推移



【参考情報】収益期待資産内訳

投資対象資産	収益期待資産の構成比											
	2024年 4月	2024年 5月	2024年 6月	2024年 7月	2024年 8月	2024年 9月	2024年 10月	2024年 11月	2024年 12月	2025年 1月	2025年 2月	2025年 3月
米国株式	26.5%	14.3%	14.2%	13.5%	6.9%	10.4%	6.6%	8.8%	13.1%	16.5%	13.2%	10.5%
香港株式	—	—	—	13.3%	7.0%	10.6%	6.5%	8.2%	13.5%	16.0%	14.5%	10.8%
新興国株式	26.9%	14.1%	14.2%	13.5%	7.0%	10.4%	6.4%	8.2%	13.3%	16.3%	—	—
商品指数	—	13.5%	13.9%	13.1%	6.9%	—	—	—	—	—	—	10.6%
米国債券	—	—	—	—	—	10.6%	6.4%	8.4%	13.0%	—	—	—
円短期金融資産	27.2%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13.3%	—
合計	80.6%	41.9%	42.3%	53.3%	27.8%	42.0%	25.9%	33.5%	53.0%	48.8%	41.1%	31.8%

* 構成比は、各月中の日々の基準価額に反映している参照指数における配分比率の平均を表示しており、月中を通じて上記の構成比が継続したことを意味するものではありません。

* 月中の配分比率の変動状況によっては、各投資対象資産の投資比率上限を上回る場合があります。

お問い合わせ、ご照会は

募集代理店	引受保険会社 明治安田生命保険相互会社 本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 電話 03(3283) 8111〔代表〕 ホームページ https://www.meijiyasuda.co.jp/
--------------	--